


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実践対象者	白石市立大平小学校 3～6年生 72名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>①教科名 (総合的な学習の時間・体育科)</p> <p>②行事名 ()</p> <p>③その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>①イベント名 ()</p> <p>②その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラインドサッカーによる視覚障害者との交流，障害への理解，身体意識の気づき，コミュニケーション能力の向上をはかる。 ・パラリンピックに興味をもたせ，東京パラリンピックへの意識を高める。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習（総合的な学習の時間）</p> <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬訓練センターに見学に行き，視覚障害者について知る。 <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックについて調べる。 <p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについて調べる。 <p>(2) 当日</p> <p>①始めの会（3～6年生）</p> <p>②体験（3・4年生）</p> <p>③給食での交流（4～6年生）</p> <p>④体験（5・6年生）</p> <p>【体験で行った内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをして前の人の肩をつかみ，列になり体育館を一周する。 ・目隠しをした人としていない人でペアになり，指示してもらいながら障害物をよけて歩く。 ・目隠しをしてボールを手渡しする時間を競う。 ・目隠しした状態で学年別，血液型別などのグループをつくる。 ・目隠しした人へ指示を出して，ボールのところまで導く。



	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをしてボールを蹴ってコーンに当てる。 ・サッカーチームの方々のプレーの様子を見学する。 
<p>6 主な成果</p>	<p>交流をもったことで、障害者に対する理解が深まったという内容が感想文に多く見られた。また、自分たちもスポーツを頑張ろうという気持ちも高まっている。サッカーに限らず、自分ができる運動に取り組もうと意気込む児童が増えている。</p> <p>【児童の感想文から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをして体育館を歩いたとき、目の不自由な人がどれほど大変か分かったので、今度から助けられるようにしたい。 ・目隠しをしてサッカーをする大変さと楽しさを知ることができた。 ・目が見えないからこそボールの渡し方に工夫があったり、声を掛け合ったりしていることが分かった。 ・自分も勉強やスポーツで活躍できるように頑張りたいと思った。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>昨年度まで総合的な学習の時間の福祉教育として、白杖体験を行っていた。そこから発展させ、ブラインドサッカーを行おうと考え、「コルジャ仙台ブラインドサッカーチーム」へ体験会をお願いした。今年度も福祉教育として、障害者について学習している学年が多いため、関連づけて取り組むことができた。自分たちで調べていたことと、実際に見て体験したことを結び付けることで、学習を深められるように工夫した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>体験会の事後学習として調べ学習などを行うことで、体験後に学習内容を広げることもできた。そのためには、体験会のおおまかな日程を設け、指導計画作成の段階で組み込む必要があった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>「コルジャ仙台ブラインドサッカーチーム」の活動の様子を知る機会を定期的に設けていきたい。学校だよりでFacebookのページも紹介しているので、活用していけたらよい。さらに、ブラインドサッカーだけではなく、パラリンピックの様々な種目にも関心を広げていきたい。</p>